

令和8年度「看護の日」記念宮崎県知事被表彰者一覧

(医療政策課)

連番	被表彰者	年齢	勤務年数 通算 (民間)	勤務場所 (勤務場所住所)	功績(要約)
1	たなか みゆき 田中 美幸	69歳	46年8月 (3年10月)	公益社団法人宮崎県看護協会 (宮崎市)	<p>43年にわたり、県保健師として健康増進業務、結核・感染症業務、災害支援業務等に従事し、うち10年間は保健師養成機関に専任教員等として保健師養成に尽力した。</p> <p>さらに、保健師の人材育成に関して、平成23年度から「保健師の力育成事業」を立ち上げ、保健師に求められる新たな健康課題に対応していくために、宮崎県立看護大学と連携し系統立てた保健師現任教育体制づくりに取り組み保健師現任教育に携わった。</p> <p>また、平成26年5月から平成28年5月までの2年間、厚生労働省の「保健師に係る研修のあり方等に関する検討会」に構成員として参画し、全国の自治体保健師の人材育成体制構築の推進に貢献した。</p> <p>定年退職後は、県立看護大学看護研究・研修センターにおいて同大学における地域貢献事業の一環として、大学教員と共に高齢者施設における感染症予防研修等に取り組んだ。</p> <p>令和3年度は県健康増進課に席を置き、新型コロナウイルス感染症発生状況に応じ県内保健所への業務支援や、感染者宿泊療養施設開設準備及び保健医療班支援に従事した。</p>
2	むらかみ あやこ 村上 文子	60歳	37年11月 (37年11月)	医療法人社団健生会 大重産婦人科医院 (延岡市)	<p>準看護師、看護師として勤務を続けながら猛勉強を重ね、助産師免許を取得。助産師免許取得後、13年間で1,579例の分娩介助を行った。</p> <p>また、母親のリラクゼーションを目的にアロマケアのライセンスを取得し希望者に実施(607名に施行)しているほか、母親学級を毎月4回開催し、妊婦に寄り添い不安軽減に取り組んでいる。</p> <p>さらに、産後ケア事業にいち早く取り組み、院内での事業開始に向けて必要物品の購入や体制整備などを進め、充実したサービス提供に寄与した。</p> <p>加えて、県北地域周産期保健医療体制づくり連絡会にも毎年参加するなど関係機関との意見交換を積極的に行い地域医療の連携強化に貢献している。</p> <p>その他、学生実習を積極的に受け入れ、母性看護の実習指導を通じて多数の後輩育成に取り組んでいる。</p>

令和8年度「看護の日」記念宮崎県知事被表彰者一覧

(医療政策課)

連番	被表彰者	年齢	勤務年数 通算 (民間)	勤務場所 (勤務場所住所)	功 績 (要 約)
3	すえなが じゅんこ 末永 淳子	69歳	51年11月 (11年6月)	公益社団法人宮崎県看護協会 (宮崎市)	<p>51年にわたり看護業務に従事し、うち21年間は地域の病院にて総看護師長を務め、看護管理者としてナースキャップを外すことに対する評価を行うなど業務改善に取り組んだ。また、がん告知に関して患者および地域住民にアンケートを行い、地域の健康課題にも取り組んだ。</p> <p>また、県看護協会活動では、広報出版委員、看護師職能委員を務めるほか、継続して区内の委員を務め、西諸地域の看護職と看護管理者の連携に尽力した。</p> <p>病院定年後は同病院の地域連携室にて地域の関係機関との連携や、デイサービスセンター等での利用者の健康管理等に従事した。</p> <p>さらに、地区の生き生き百歳体操や町の健康支援員等のボランティア活動等にも積極的に関わり、健康づくりを通して町全体の活性化等にも貢献している。</p> <p>その他、宮崎県看護協会内にある宮崎県ナースセンターの就業相談員としてハローワークで求職者の相談を受け、看護職の就業促進に尽力している。特に近年、役割が大きくなっていく60歳代以降の就職希望者を再就職へとつなげ、プラチナナースの活躍を支援している。</p>
4	えとう ますみ 江藤 ますみ	68歳	40年10月 (39年11月)	聖心ウルスラ学園高等学校 (延岡市)	<p>病棟や救急外来等に30年余勤務した後、病棟師長となり、申し送りの廃止等業務改善に努め離職率の低下に繋がった。</p> <p>その後、看護部の感染委員長として院内感染対策に尽力し、院内研修会や感染対策の院内ラウンドを開始し、後進にも引き継がれている。</p> <p>病院退職後、聖心ウルスラ学園高等学校 看護科・看護専攻科の学科長として看護師養成に尽力している。同校は地域に貢献できる看護師養成を目指し、多くの卒業生を県北をはじめとする県内の医療機関へ送り出しており、県内就業率は県平均を毎年上回っている。</p> <p>さらに、宮崎県が子宮頸がんワクチン接種率が低率であることに着目し、医師や行政等と連携し、子宮頸がんとHPVワクチンについて、宮崎県産業教育フェアでの学生の研究発表を導くなど、地域の健康課題への働きかけや看護教育活動に大きく貢献している。</p>

令和8年度「看護の日」記念宮崎県知事被表彰者一覧

(医療政策課)

連番	被表彰者	年齢	勤務年数 通算 (民間)	勤務場所 (勤務場所住所)	功績(要約)
5	まつだ 松田 さとみ 聖美	64歳	40年11月 (40年11月)	社会福祉法人恩賜財団済生会支部 宮崎県済生会日向病院 (門川町)	<p>県外で勤務後、社会福祉法人恩賜財団済生会支部宮崎県済生会日向病院に36年余勤務している。その間、同院の訪問看護ステーションの立ち上げに伴い、副看護部長として管理者と協働し、看護師配置増員や特定行為研修修了者の育成、勤務体制整備や重症度の高い利用者受け入れや看取り等の整備を管理者とともにやり、地域が求める機能強化型Ⅰを取得した。併せて、「人材交流研修」の構築により、院内の看護師が在宅看護を学ぶ機会と訪問看護ステーションの人員不足など、様々な問題解決に効果を上げた。</p> <p>看護部長就任後、新型コロナウイルス感染症が拡大した際、感染症指定医療機関として地域の患者受け入れ体制を構築し、地域に拡大させない、入院加療が必要な地域住民をすべて受け入れる、というミッションに病院長とともに取り組んだ。</p> <p>加えて、看護師の職場環境を整えること、処遇改善を行うこと、患者受け入れに伴うマニュアル作成、対策会議への参画等を行い、業務の標準化や対応基準の明確化等に尽力した。</p> <p>また、宮崎県看護協会では種々の委員を歴任し、特に、認定看護管理者教育運営委員会では令和2年度から委員となり、令和7年度から委員長として、後進の看護管理者の育成に尽力している。</p>
6	かぐち 加口 たまこ 多喜子	62歳	42年 (42年)	医療法人伸和会 延岡共立病院 (延岡市)	<p>42年間、看護業務に従事し、看護業務改善や人材育成に大きく貢献した。</p> <p>具体的には、看護主任教育担当としての業務に加え、中学生の職場体験実習や、高校生の病院見学研修、ふれあい看護体験、専門学校生の実習教育担当も担っている。</p> <p>また、新人看護師や看護補助者の人材育成に加え、ミャンマーからの特定技能外国人に対する教育も担当し、介護福祉士の資格取得等のため指導・支援している。</p> <p>その他、竜巻発生による対応や、新型コロナウイルス感染症の集団ワクチン接種等も率先して対応し、突発的に発生した健康危機事象に大きく貢献した。</p>

令和8年度「看護の日」記念宮崎県知事被表彰者一覧

(医療政策課)

連番	被表彰者	年齢	勤務年数 通算 (民間)	勤務場所 (勤務場所住所)	功 績 (要 約)
7	まつした 松下 理絵	60歳	38年10月 (26年11月)	(株) 希望NOZOMI 訪問看護ステーション希星 (国富町)	<p>県内の医療機関や訪問看護ステーションに勤務後、訪問看護ステーションを立ち上げ、現在まで県内の訪問看護の推進に貢献している。</p> <p>十数年来、在宅での人工呼吸器装着の小児等への訪問を通して小児の難病患者への寄り添った活動を継続し、近年では、拠点病院・在宅医・多職種との連携のもと、小児がん患者や小児の在宅での看取りにも尽力している。</p> <p>加えて、県内の看護大学等から実習生を受け入れたり、研修や大学講義の講師を務めるなど後進の育成に寄与している。</p> <p>また、宮崎市医療的ケア児等支援連絡協議会、宮崎県医療的ケア児等支援部会、中央保健所難病対策地域協議会等に参加し、県内の医療的ケア児や難病患者の在宅療養の増進に寄与している。</p> <p>近年では、特別支援学校で医療的ケアを行っている看護師への講義や、特別支援学校訪問教育医療的ケア児の修学旅行への同行にも協力している。</p> <p>コロナ禍では、在宅患者の健康チェック等の支援に関わり、感染者の在宅療養に尽力するほか、宮崎県ナースセンター事業運営委員会委員、宮崎県相談支援専門員養成研修講師を歴任し、地域の健康課題に向けた取組に貢献している。</p>
8	かい 甲斐 邦宏	59歳	39年1月 (39年1月)	医療法人和敬会 国見ヶ丘病院 (高千穂町)	<p>介護老人保健施設で11年、精神科病院で17年以上勤務。その間、立ち上げに携わった同施設の看護長に就任し、老健協会にて転倒防止等の取組を発表するなど施設看護の質向上に尽力した。</p> <p>精神科病院では、日本医療機能評価機構の病院機能評価の認定やISOの認証取得に関わり、現在もそれぞれ更新を継続している。</p> <p>その他、相談サポートセンターの立ち上げに携わり、地域連携と退院促進の推進に貢献した。</p> <p>看護部長就任後は、看護職の確保に苦慮しながらも、病棟の看護体制を整え、地域の唯一の精神科病院として入院体制を維持できるよう努めている。また、看護職の処遇改善にも積極的に取り組んでいる。</p> <p>地域や看護協会活動においては、延岡・西臼杵地区の医療安全推進委員会(通算7年)で活動し、平成29年度から令和元年度、令和6年度から令和7年度には県協会の委員も務めている。</p> <p>平成28年4月の熊本震災時には、熊本の精神科病院より10名患者を受け入れるなど災害支援にも貢献し、宮崎精神科病院協会主催の発表会で震災での取組について発表した。</p>